

令和5年度北海道アザラシ管理検討会（打合せ）開催結果概要

- 1 日時 令和5年(2023年)10月20日(金) 13:30~14:30
- 2 場所 Web会議(Zoom)※事務局は部1号会議室
- 3 出席者 北海道アザラシ管理検討会座長 小林 万里(東京農業大学生物研究学部海洋水産学科教授)
北海道アザラシ管理検討会構成員 宮内 泰介(北海道大学大学院文化研究院教授)
北海道アザラシ管理検討会構成員 山村 織生(北海道大学大学院水産科学研究院准教授)
北海道アザラシ管理検討会構成員 後藤 陽子(北海道立総合研究機構稚内水産試験場研究主幹)
北海道環境生活部自然環境局野生動物対策課課長補佐(野生鳥獣) 車田 利夫
北海道環境生活部自然環境局野生動物対策課野生鳥獣係主査(特定動物)
松田 宏子

4 議題

- (1) 令和5年度 周年定着個体数の状況及び上陸場調査について(13:35~14:00)
- (2) 北海道アザラシ管理計画 令和6年度事業実施計画について(14:00~14:10)
- (3) 北海道アザラシワークショップについて(14:10~14:20)
- (4) その他、意見交換(14:20~14:30)

5 議事概要

- (1) 令和5年度 周年定着個体数の状況及び上陸場調査について

<発言要旨>

- ・個体数調査の結果、近年、冬の個体数と連動して、夏の個体数も減少傾向にある。
- ・礼文島の状況としては、夏の個体数は激減している一方で、ベンサシでは増加傾向と考えている。また、島の北部だと十兵衛沢と金田ノ岬で夏に個体数が多い傾向にある。(小林座長)
- ・聞き取りによる礼文島での新たな上陸場調査では、今回、新しい上陸場があるという情報を得られなかったが、ベンサシでは一時期より減少はしたが現在は通年生息していて、香深港の周辺ではタコ被害が多く、春先から夏にかけ上陸しているが、それ以外は遊泳をしているという情報を得た。また、最近は十兵衛沢でも通年アザラシがいて、幌泊では、増加傾向で上陸岩礁も増えたということであった。(小林座長)

- (2) 北海道アザラシ管理計画 令和6年度事業実施計画について

<発言要旨>

- ・北海道アザラシ管理計画では平成27年の確認個体数であった約1,400頭の周年定着個体について、概ね2分の1に削減することを目標としてきたが、最近の個体数は半分以下であり、当初目標を達成したように見える。他にもいるかもしれないから、引き続き続けるというのであれば、その根拠を示した方がよい。(山村構成員)
- ・留萌管内の漁協や市町村に、最近、新しい上陸場や分布が変わったという情報はあるかと聞き取りをしたが、当管内に関しては、三泊以外に変化はないと言っていた。ただ、アザ

ラシの報道があると皆注目するようになるため、報告が増える傾向にあることから、やはり正確な情報を把握することが大事と考える。(後藤構成員)

- ・令和5年度事業実施計画の「道内でも生息実態をより正確に把握するため、将来的な一斉調査の実施可能性を検証するための新たな上陸場確認調査の実施について検討する」という文章について、「将来的な可能性を検証することを検討する」ということで、書きぶりとして、逃げ道ばかり残しているように読めてしまう。(山村構成員)
- ・「実施について検討する」という文言だが、すでに実施しているのであれば、素直に「実施する」と記載すればよい。そうすれば、この「検証するため検討する」という回りくどい表現は、解消されると思う。(後藤構成員)
- ・一斉調査は多くのマンパワーを必要とするものであり、実現可能性を検証する必要もあることからの記載である。(事務局)
- ・「(2) 捕獲手法調査」と記載があるが、これに関し、第2期計画である程度成果をあげたと報告があったと思うが、これも引き続き続けるのか。(後藤構成員)→(2)については、今年度は実施をしていない。空気銃については、まだ十分な検証ができてないが、それ以外の部分は成果が出ているということ、また、今年度、新たな調査を実施することになったことから、委託内容から(2)を外し、新調査を追加したもの。(2)については、来年度の実施事業実施計画から記載を削除するなどの検討をしたい。(事務局)

(3) 北海道アザラシワークショップについて

<発言要旨>

- ・前回の検討会において、「上陸場調査の結果で新しい情報が得られれば、これまで開催実績のある宗谷や留萌管内での開催を検討する。還元できるほどの情報が入手できない場合は、未開催地で実施してはどうか」と話があったが、「新しい情報が得られている状況ではない」との小林座長の意見を踏まえ、今年度は、これまで実施してない釧路管内の釧路市で開催し、時期については、地元漁業者や漁協の意向を踏まえ、2月上旬と考えている。(事務局)

(4) その他、意見交換

<発言要旨>

- ・漁業被害調査の聞き取りについて、調査に行けない箇所においては、オンラインの活用を検討してほしい。(宮内構成員)
- ・漁業被害状況等について、令和4年度のアザラシの被害で直接被害額が減り間接被害額が増え、振興局別では、十勝で去年の3倍ぐらい増えている。今までと違う変化が見てとれるが、何か情報はるか。(後藤構成員)→水産林務部に確認したが、理由について把握はしておらず、また、間接被害額及び直接被害額についての分析等は行っていないとのことだった。(事務局)
- ・被害状況等については、元データに月別の情報もあると思うので、被害の多い宗谷や留萌、根室地域の月別情報を示していただければ、被害の状況などが見えてくると思う。(山村構成員)→次回の検討会で、そうした資料を示し、意見をいただければと考えている。(事務局)